

## 用語解説



## ア行

### ●アルミ選別機

電磁的な誘導作用によってアルミ内に過電流を生じさせ、破碎されたごみの中からアルミを分離、回収する機械のこと。

### ●硫黄酸化物（SO<sub>x</sub>）

硫黄の酸化物の総称で、一酸化硫黄、二酸化硫黄等があり、SO<sub>x</sub>（ソックス）ともいい、大気汚染防止法により排出が規制されている。石油、石炭等の硫黄分を含む化石燃料の燃焼に伴い発生し、ぜん息や酸性雨の原因になっている。

### ●一般廃棄物

廃棄物処理法で定められた産業廃棄物以外の廃棄物のこと。

主に、一般家庭の日常生活に伴って生じる「家庭系ごみ」、事業活動に伴って生じる「事業系ごみ」に分けられ、その他に生活排水の「し尿」等が含まれる。

### ●受入ヤード

処理する前のごみを一時的に貯留する平面的な場所のこと。

### ●塩化水素（HCl）

水素と塩素の化合物で、大気汚染防止法により排出が規制されている。

塩化物を含むプラスチック、ビニール等を燃焼することにより発生する無色透明で刺激臭のある有毒な気体である。

## カ行

### ●環境学習

地球環境の保全、公害の防止、自然環境の保護等の環境問題についての理解を深めるために行われる学習や教育のこと。

ごみ処理に関する分野では、ごみ処理施設の見学、資源の分別講座等が

挙げられる。

### ●基準ごみ

ごみ処理施設に搬入されるごみは、常時均一の状態では搬入されるものではないため、設定する計画ごみ質には幅を持たせることが必要である。このうち、標準的なごみ質を基準ごみという。また、生ごみ等の水分が多い場合の下限的なごみ質を低質ごみ、プラスチック等が多く水分量が少ない場合の上限的なごみ質を高質ごみという。

### ●給じん装置

投入ホッパから送られてきたごみを燃焼装置に連続的に供給する装置のこと。

### ●許可業者

廃棄物処理法に基づき、廃棄物の収集運搬許可を受けている事業者のこと。

### ●航空障害灯

夜間に飛行する航空機に対して建築物や構築物の存在を示すために使用される電灯のこと。

### ●コークス

石炭を 1,000℃以上の高温炉で乾留（蒸し焼き）して得られる固形の燃料のこと。黒灰色で金属光沢があり、細かい穴（孔）が多数存在する。

### ●高質ごみ

「基準ごみ」（P.用語-2）参照。

### ●高速回転破砕機

高速回転するローターにハンマー状のものを取付け、高速で回転するこ

とで衝撃等の力を用いてごみを破砕する機械のこと。

### ●ごみクレーン

ごみピット内のごみを攪拌（かき混ぜ）して、ごみをホッパに投入する作業を行う機械のこと。

### ●ごみ焼却施設

ごみを焼却等の処理によって灰等にすることで、無害化、減容化等を行う施設のこと。

### ●ごみ処理基本計画

廃棄物処理法に基づき、地方公共団体が定める一般廃棄物処理に関する中長期計画である一般廃棄物処理基本計画のうち、主に家庭系ごみ及び事業系ごみを対象にした計画のこと。

### ●ごみピット

処理する前のごみを処理施設内で一時的に貯留する竪穴状の場所のこと。

## サ行

### ●災害廃棄物

地震、台風等の災害時に発生する廃棄物のこと。

主に、地方公共団体に処理責任がある一般廃棄物に分類される。

### ●最終処分場

再利用、資源化又はエネルギー回収が困難なものを埋立処分する施設のこと。

埋め立てる廃棄物の種類及び性状によって、構造基準及び維持管理基準が定められている。

## ●再生可能エネルギー

一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギーのこと。太陽光、太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱等に代表される。

## ●再生利用（マテリアルリサイクル）

使用済み製品や生産工程から出る廃棄物や資源を回収し、利用しやすいように処理して、新しい製品の原材料として使用すること。

## ●磁選機

磁力によって、破砕されたごみの中から鉄分等を吸着させて選別、回収する機械のこと。

## ●循環型社会

廃棄物等の発生抑制、資源の循環的な利用、廃棄物の適正な処分等が確保されることによって、天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減される社会のこと。

## ●焼却灰

可燃ごみを焼却処理した際に残る燃え殻のこと。

焼却時に発生する排ガスに含まれる焼却飛灰と区別して主灰ともいう。

## ●焼却飛灰【しょうきゃくひばい】

可燃ごみを焼却処理した際に発生する排ガス中に含まれる灰、すす等の固体の粒子状物質のこと。

排ガス処理設備内の集じん機等で捕集し、有害物質の溶出防止のため、薬剤処理、セメント固化処理等を行う。

## ●水銀

一部の体温計、電池等に含まれる金属の一つ。化学形態により、毒性は

異なるが、神経系障害等を引き起こすとされている。

平成 30 年 4 月に改正大気汚染防止法が施行されることにより、新しいごみ処理施設において、排ガスの法令基準値が適用されることとなる。

### ●ステーション方式

地域にあるごみ集積場所やごみ収集場所で、曜日や時間を定めて家庭系ごみを収集する方式のこと。

地方公共団体によって、収集できる廃棄物の種類、ステーションの数等に違いがある。

### ●3R【すリーあーる】

「ごみを出さない」「一度使って不要になった製品や部品を再び使う」「出たごみはリサイクルする」という廃棄物処理やリサイクルの方法の略称のこと。

優先順位の高い順に、「リデュース（Reduce：発生抑制）」「リユース（Reuse：再使用）」「リサイクル（Recycle：再資源化）」の頭文字を取ってこう呼ばれる。

近年では、3Rに「リフューズ（Refuse：ごみになるものを買わない）」や「リペア（Repair：修理して使う）」を加え、4R又は5Rという場合もある。

### ●粗大ごみ処理施設

粗大ごみ及び不燃ごみを破砕処理し、金属等の資源、焼却可能な可燃性の残さ等に選別する施設のこと。

## タ行

### ●ダイオキシン類

有機塩素化合物のうち、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンを始め、これとよく似た毒性を有する物質をまとめた総称のこと。

単位「ng-TEQ/m<sup>3</sup>N」について、ng（ナノグラム）は10億分の1グラムの

ことであり、TEQ（毒性等量）は毒性の強さを加味したダイオキシン量の単位のことである。ダイオキシンには色々な種類があり、その毒性も異なることから、最も毒性が強いダイオキシンの毒性を1として、他の異性体の毒性の強さを換算した係数を用い、計測された量とダイオキシン類の毒性を換算する。このようにして換算された数値には、重さの単位にTEQを付けて単純な物理量ではないことを明示することになっている。

### ●窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）

窒素の酸化物の総称で、一酸化窒素、二酸化窒素等があり、NO<sub>x</sub>（ノックス）ともいい、大気汚染防止法により排出が規制されている。高温での焼却に伴い発生し、光化学スモッグや酸性雨の原因になっている。

### ●昼間障害標識

航空機の航行の安全に影響を及ぼすと思われる建築物や構築物等に設置される赤又は黄赤と白に塗り分けられた塗装、旗、標示物のこと。

### ●中間処理

廃棄物に焼却・溶融、破碎、選別等の処理を行うことにより、鉄、アルミ等を資源として回収するとともに、可能な限り体積及び重量を減らし、最終処分による環境負荷を小さくすること。

### ●低質ごみ

「基準ごみ」（P.用語-2）参照。

### ●低速回転破碎機

低速回転する回転刃と固定刃又は複数の回転刃の間でのせん断作用によりごみを破碎する機械のこと。

### ●投入ホッパ

ごみピットからごみクレーンを用いて投入されたごみを一次的に貯留

しながら連続して炉内に送り込むための装置のこと。

### ●特別目的会社（SPC）

ある特別の事業を行うために設立された事業会社のこと。

## ナ行

### ●西知多医療厚生組合

東海市及び知多市を構成市とする一部事務組合（複数の地方公共団体がその事務の一部を共同して処理するために設ける特別地方公共団体の一種）で、し尿処理事業、病院事業、看護専門学校事業及びごみ処理施設建設事業を実施している。

### ●熱回収（サーマルリサイクル）

廃棄物を焼却等の方法で処理する際に発生する熱エネルギーを回収して利用すること。

主な利用方法として、温水利用、発電利用等がある。

## ハ行

### ●廃棄物の処理及び清掃に関する法律

「廃棄物処理法」や「廃掃法」の略称で呼ばれる。廃棄物の排出抑制及び処理の適正化により、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とした法律である。

### ●ばいじん

焼却により発生した、「すす」や「燃えかす」のことをいい、大気汚染防止法により排出が規制されている。

### ●廃熱ボイラ

焼却炉から発生する高温の燃焼ガスから熱回収を行い、排ガス処理設備が安全に、効率よく性能を発揮できるガス温度まで冷却するためのもの。

## ●パブリックコメント手続

重要な計画等の意思決定過程において、市民等からの意見の提出機会を設け、多様な意見を把握するとともに、それに対する見解を公表することで、透明性の向上等を図ることを目的とした手続のこと。

## ●PFI【ピーえふあい】

PFIとは、「プライベート (Private)・ファイナンス (Finance)・イニシアティブ (Initiative)」の略称で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法のこと。

「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(PFI法)により、その手続が定められている。

## ●VFM (Value For Money)【ぶいえふえむ】

PFI事業における最も重要な概念の一つで、支払い (Money) に対して最も価値の高いサービス (Value) を供給するという考え方のこと。従来方式と比べて、民間活力を利用する事業方式が総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合のこと。

## マ行

### ●メタル

廃棄物や焼却灰をガス化溶融炉や灰溶融炉で溶融処理した際に生成される溶融固化物のうち、磁性を持つ固化物のこと。

生成されたメタルは、建設機械のおもり (カウンターウェイト) 等に利用することができる。

## ヤ行

### ●溶融スラグ

廃棄物や焼却灰をガス化溶融炉や灰溶融炉で溶融処理した際に生成される溶融固化物のうち、磁性を持たない固化物のこと。

生成されたスラグは、建設資材の原材料等として利用することができる。

### ●溶融飛灰【ようゆうひばい】

廃棄物や焼却灰をガス化溶融炉や灰溶融炉で溶融処理した際に発生する排ガス中に含まれる固体の粒子状物質のこと。

排ガス処理設備内の集じん機等で捕集し、有害物質の溶出防止のため、薬剤処理、セメント固化等の処理を行う。

亜鉛、鉛、銅、カドミウム等の非鉄金属が含まれているため、資源化処理を行う場合もある。



西知多医療厚生組合  
ごみ処理施設整備基本計画

平成30年2月発行

●発行者 西知多医療厚生組合

●編集 西知多医療厚生組合

総務部 ごみ処理施設建設課

〒478-0006

愛知県知多市三反田3丁目1-2

電話番号 0562-32-1597

FAX番号 0562-33-7207